

報道機関各位

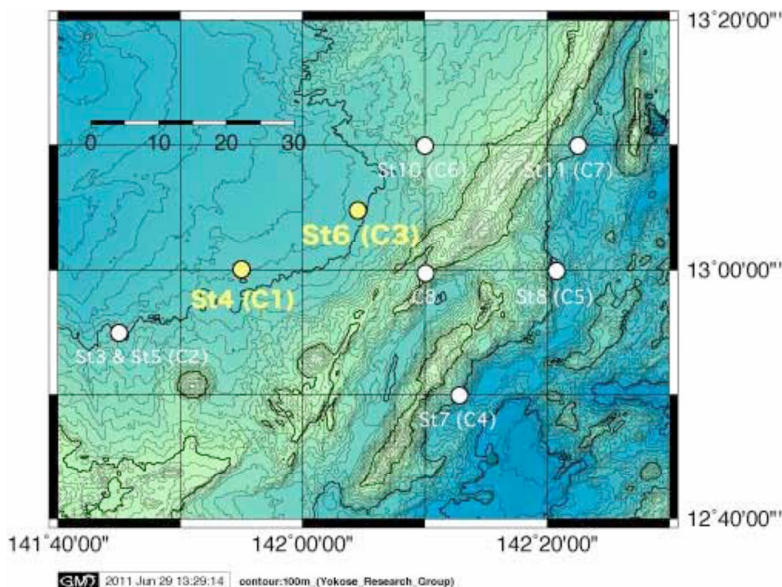
熊本大学

ウナギ産卵場研究 急展開！ 世界で初めて天然日本ウナギの卵、大量採取

2011年6月24日～7月10日にかけて行われた白鳳丸研究調査航海（KH-11-6：主席研究員：塚本勝巳）で、世界で初めて天然日本ウナギの卵が大量（約150個）に採取された。

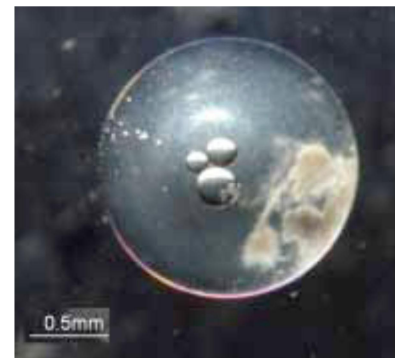
熊本大学からは、横瀬久芳准教授（大学院自然科学研究科：海洋火山学）が、ウナギ研究グループからの要請を受け、産卵地点推定のための地球科学的アドバイザーとして乗船。推定産卵地点の4地点目で天然ウナギの卵の採集に成功、水産学と地球科学の共同作業で成し得た成果である。今回の発見が、絶滅が危惧される日本ウナギの資源保護において、大きな一歩となる事が期待される。

【産卵地点】



【天然ウナギの卵

（東京大学大気海洋研究所）】



参考：東京大学 大気海洋研究所 プレスリリース

<http://www.aori.u-tokyo.ac.jp/news-topics/j/news20110710.html>

【お問い合わせ先】
大学院自然科学研究科
横瀬 久芳 准教授